

ちひろカレンダーニュース

発行：原水爆禁止日本協議会
電話 03-5842-6031 FAX 03-5842-6033 mail:antiatom55hotmail.com

2015年
11月5日No.2

県目標を越え普及をと奮闘中！

例年より早いスタートをしたカレンダー普及ですが、少々ダウン気味。そんな中、苦戦しながらも、知恵を
しぼりながら、何とせよと奮闘している事務局長さんたちからの声をご紹介します。

【富山：小林事務局長】 「ひろげる努力を続けます！」とカレンダーの注文とともに、小林事務局長の意気
込みが届きました。「待っていても注文は来ないから、来週自分で歩いてきます」と県内の大学と地域をま
わる計画です。

【福岡：高橋事務局長】 去年の普及数を越えようと奮闘する高橋事務局長。「戦争法で活動しているママの
会とカレンダー普及の事でつながりたいので、新婦人県本部と相談し、コンタクトとってみます」とコメント。

【愛知：横江事務局長】 先日新婦人県本部の担当者と話し合い、「県本部として 3000 本の目標をガンバル」
と決意。改めて、いわさきちひろさんが新婦人の創設者でもあることを若い子に知らせたいと若い平和担当
が頑張っています。

【北海道：嶋田事務局長】 「サンタの絵（カレンダーの表紙）の募金袋作ってこれから地域をまわります。
『イチエフ裁判』であらためて被爆者訴訟と同じ構図だと実感。援護募金とともに福島支援のカレンダー募金
を強めます」とコメント。

【千葉：紙谷事務局長】 「千葉にもママの会があり。実は新婦人千葉支部の会長がママの会の一人。すでに
依頼をしており、新婦人として広げようと考えている。また新婦人とつながりのないママの会には知り合いも
いて、これまでも買ってもらっている」とのこと。少し増えているところ。議員への要請も行いますとコメン
ト。

福島県相馬市の仮設住宅へ カレンダー届けに行きます！

11月23日、24日、福島県の浜通りをスタートに、今年も被災地カレンダー贈呈に行きます。

毎年受入のお世話をしてくださっている南相馬市日本共産党ボランティアセンターの宮前さんと、新地町の
民商の「中島ストア」経営者の中島さんにご足労いただき、20キロ圏内の視察、仮設住宅、自治体訪問。中
島さんが原告団長となっている「生業を返せ、地域を返せ！」福島原発訴訟裁判のお話を伺う予定です。

今回私たちが訪問する予定の相馬市の大野台仮設住宅には、浪江町、飯館町、小高地区の方が生活していま
す。どんどん周囲の仮設住宅から人が去っていき、解体工事進む中、帰れる目途が立たないそうです。（こ
のほか、新地町や鹿島地区など、配りきれない仮設住宅の方には、宮前さんが地元の方と協力して届けてくだ
さいます）。※いっしょに行ける方は、お早めにご連絡ください。

ちひろカレンダー贈呈募金にご協力お願いします。